



## 黄金の1週間が過ぎて……

先週は、月曜日の着任式、始業式、入学式をスタートに、怒濤の1週間が過ぎました。今週は、心身の疲労が蓄積しないように、少しペースダウンして、落ち着いた雰囲気での懇談会、参観日を迎えたいと思っています。

「黄金の1週間」?

新年度早々の子どもたちは、新しい学年、新しい学級、新しい仲間、先生方との学校生活に不安を抱きながらも、「さあ、頑張るぞ～」と前向きな気持ちをもっている時期です。そんな時期に、学校生活の基本を身につけると、これからの学校生活をスムーズに送ることができるため、この1週間を教職員の間では「黄金の1週間」と言うことがあります。

ところで、浅江中学校の「黄金の1週間」はどうだったのでしょうか……各学年の学年主任に学年の1週間を振り返っての感想を聞いてみました。



3年主任

【一生懸命～3S 誠実・素直・Study～】の学年スローガンを掲げ、今年度が始まりました。中学校生活で1つ1つのことが最後になるこの1年間。絶対に悔いを残さないように1日1日、一瞬一瞬を『一生懸命』に生きてほしいです。そんな3年生の最初の一週間は、クラスや担任が発表され、環境が大きく変わったにもかかわらず、非常に落ち着いたスタートとなりました。修学旅行の準備で楽しげな雰囲気が流れているときもあれば、授業ではどのクラスも程良い緊張感に包まれていました。合同体育などをはじめ、学校生活で「最上級生としての自覚」が少し見えはじめた一週間でした。どんな浅江中3年生になっていくのか、これからがとても楽しみです。

4月10日朝、昇降口に新クラスの編成が貼り出され、それを見た新2年生の歓声や嬌声が職員室まで聞こえてきました。その日の着任式・始業式では、クラス替え間もない状態であるにもかかわらず、整然とした行動がとれており、新着任の先生方も驚かされていました。入学式準備においても自分の役割分担を超えて「気づき・考え・行動」しながら取り組む姿が見られ、進級し新たな環境を受け入れて頑張ろうという決意が伝わってきました。年度初めの学年集会では、2年生の学年スローガン「稚心を去る」についてその言葉の意味と2年生の目指すべき方向性を皆で共有しました。



2年主任



1年主任

新たに126名が浅江中生となり1週間が過ぎました。初めの数日間は、慣れない環境に新しい仲間、見たこともない景色ばかりで戸惑う姿も見られましたが、徐々に浅江中学校の生活にも慣れてきたように感じています。浅江中学校のモットーは「気づき・考え・行動すること」です。最初は言われてから動くことも多かった1年生ですが、1週間が過ぎた今では、自分で時間を確認したり、掃除時間にプラスαの行動ができたりなど、浅江中生らしい姿も見え始めてきました。浅江中生の良いところは「当たり前を一生懸命にできる」ことです。まだまだ、これからの1年生ですが、先輩方の姿を手本に、どんどん成長していってくれることを楽しみにしています。